

いつまでも「広き宇内に雄飛せん」!

●「平成30年浦高同窓会・総会」無事に終わる!

今日5月27日(日)は13時30分から17時30分まで、さいたま新都心のブリランテ武蔵野にて「浦和高校同窓会・総会/講演会/懇親会」が開催され、210名を超える会員が集まり盛会でした。

総会の冒頭では、木村恵司会長(高17)がご挨拶。



「平成27年4月から新しい会則に沿った同窓会運営が始まり、丸2年が経ちました。この2年間で常任理事を中心とした同窓会活性化委員会で、浦高ビジネス人材ネットワークや同窓会の法人化など中長期的な課題に対して議論をしていただき、今年度から具体的な展開に向けてまいります。また、4月から浦高出身の小島校長をお迎えすることができ頼もしく思っています。小島先生には3つのことをお願いしたいと思えます。実践の場に出ても活躍できる人材の育成、総合的な視野・知識を持った人材の育成、グローバル社会に対応できる人材の育成であり、これらは高校・大学の役割がより重要になってきていると考えていますので、同窓会としても積極的にご支援いたしますので、ぜひ進めていただくようお願いいたします。」〔メモ書きより〕

続いて、小島克也校長(高30)からのご挨拶。



「皆様、本日は同窓会総会の開催、おめでとうございます。4月から第30第浦和高校校長を拜命いたしました小島でございます。浦高卒業生としては11代校長の木村泰夫先生以来53年振りの浦高OBで責任の重さを実感しているところでございます。私も前任者の方針を引き継ぎ、これまで培ってきた「尚文昌武」の伝統を守りつつ、勉強、学校行事、部活動に励む全人教育を貫いてまいります。先日、ある大学教授が昨年実施した進学校の在校生と卒業生を対象としたアンケート調査の結果報告に訪れてくれました。その教授曰く、浦高卒業生は転職率が低いことが現代社会では弱点になると指摘されていましたが、私は仲間を大切にしている職場の絆を大切にしている風土こそが浦高生の強みではないかと思っています。グローバル社会で活躍するためにも、多くの仲間との絆が大切であると思っています。ぜひ、これからも同窓会や奨学財団等のご支援をいただきながら、浦高の良き伝統を引き継いでいきたいと考えております。」〔メモ書きより〕

総会では

第一号議案 平成29年度事業報告及び決算(案)

※事業計画では地域職域同窓会総会等への出席、麗和セミナーの開催、活性化委員会をはじめ各種委員会の開催などが報告された

※決算(案)では、一般会計と森会計合わせて収入合計1,242万円余、支出1,163万円余、年度末財産5,954万円余が提案・可決された

※監査報告：適正に執行された

第二号議案 平成30年度事業計画(案)及び予算(案)

※例年と同様の事業計画が提案・可決された

※収入1,193万円余、支出1,294万円余が提案・可決された

第三号議案 平成30年度同窓会役員(案)

※平成30・31年度の2年任期の役員として木村会長以下の役員が提案・可決された

報告事項

※事務局に次長を置き2人体制とする

※公益財団法人県立浦和高等学校奨学財団では5年間で延べ2千人余から7千万円余の現金と28万株の株券の寄附を受け、これまでに延べ141名の海外研修、24人の留学、1人の修学、5人の進学に対して奨学金を給付し、現在の正味財産は16億92百万円余

といった内容で議案可決、報告が行われました。

総会後の講演会では東北大学・東北アジア研究センターの佐藤源之教授から「地下から



見える世界『さきたま古墳と地雷除去』というテーマで電波科学を応用した技術を駆使して世界各地での地雷除去により人々の命を守り、古墳やピラミッド内に隠された古代の謎を解いていくというロマン溢れるお話を聞かせていただきました。

そして16時からの懇親会では、浦和一女マンドリン部23名による合奏や浦高グリークラブ25名の合唱など現役パワーをいた



だいてきました。最後は校歌斉唱♪広き宇内・・・♪